

1 1 地域支援事業

地域支援事業は、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的に実施している。

地域支援事業については、平成 26 年の介護保険法改正により、内容の見直しが行われ、介護予防事業が介護予防・日常生活支援総合事業に再編された。

介護予防・日常生活支援総合事業は、①介護予防訪問介護等に移行し、要支援者等に対して必要な支援を行う介護予防・生活支援サービス事業（介護保険法第 115 条の 45 第 1 項第 1 号）と、②第 1 号被保険者に対して体操教室等の介護予防を行う一般介護予防事業（介護保険法第 115 条の 45 第 1 項第 2 号）から構成され、文京区においては、平成 28 年 10 月 1 日から事業を開始した。

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 総合サービス事業（文京区における介護予防・生活支援サービス事業の名称）

総合サービス事業は、要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応するため、①調理、洗濯、掃除等の日常生活に支障をきたしている場合に、自立した生活を送ることを目指す支援を行う「訪問型サービス」、②食事、入浴、その他必要な日常生活上の支援や機能訓練等を日帰りで提供し、心身機能の維持向上を図る「通所型サービス」、③利用者の個別性に応じた包括的なプログラムを短期間に集中して行うことにより、生活機能の維持又は向上を目指す「短期集中予防サービス」、④これらのサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントを行う「介護予防ケアマネジメント」等により構成される。

① 訪問型・通所型サービス

要支援者等の心身の状況や置かれている環境等の状況に応じ、総合サービス事業における訪問型及び通所型サービスその他の適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、必要な支援を行っている。

| | | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|---------------|-----|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 訪問型サービス | 人数 | 483 人 | 3,828 人 | 4,728 人 | 4,850 人 |
| | 回数 | 2,544 回 | 20,161 回 | 24,977 回 | 25,624 回 |
| | 給付費 | 7,995,922 円 | 65,400,475 円 | 79,951,932 円 | 83,044,443 円 |
| 通所型サービス | 人数 | 928 人 | 7,251 人 | 9,038 人 | 9,136 人 |
| | 回数 | 4,868 回 | 39,643 回 | 49,159 回 | 48,483 回 |
| | 給付費 | 23,483,411 円 | 204,598,603 円 | 233,213,369 円 | 231,798,208 円 |
| 介護予防ケアマネジメント費 | 人数 | 1,480 人 | 7,674 人 | 8,695 人 | 8,400 人 |
| | 回数 | — | — | — | — |
| | 給付費 | 8,154,150 円 | 39,718,067 円 | 44,457,318 円 | 42,807,386 円 |

| | | | | | |
|----|-----|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 合計 | 人数 | 2,891 人 | 18,753 人 | 22,461 人 | 22,386 人 |
| | 回数 | 7,412 回 | 59,804 回 | 74,136 回 | 74,107 回 |
| | 給付費 | 39,633,483 円 | 309,717,145 円 | 357,622,619 円 | 357,650,037 円 |

※総合サービス事業は、平成 29 年 10 月 1 日より予防給付から完全に移行した。

※他保険者で実施した総合事業分も含む。

※介護予防ケアマネジメント費は、短期集中予防サービス（介護予防事業）に係る介護予防ケアマネジメント費を含む。

② 短期集中予防サービス（プログラム事業）

基本チェックリストにより生活機能等の低下が見られる方に対し、要介護状態になることを予防するために実施している。

ア 事業内容

| 事業名 | 内容 |
|--|--|
| 複合型プログラム事業 ・まるごと元気！筋力アップ体操教室 ・まるごと元気！マシン運動教室 | 理学療法士等の指導により、筋力トレーニング、バランストレーニング、有酸素運動、ストレッチなどを実施する。併せて管理栄養士及び歯科衛生士の指導により、低栄養予防及び口腔機能維持向上を目的とした講義等を行い、生活機能の向上を目指す。 |
| 運動器の機能向上プログラム事業 ・筋力向上トレーニング事業 ・筋力向上マシントレーニング事業 | 理学療法士や作業療法士等の指導により、筋力トレーニング、バランストレーニング、ストレッチなどを行い、生活機能の向上を目指す。 |
| 口腔機能向上プログラム事業 | 歯科医師や歯科衛生士の指導により、口腔内の健康を保つための指導や、食べ物をかむ、飲み込むなどの機能を向上させるトレーニングを行う。 |
| 栄養改善複合型プログラム事業 | 理学療法士や作業療法士等の指導により、ストレッチ運動や足腰の筋力アップを高める運動を行うとともに、栄養士により、低栄養状態を改善することを目的とした講義などを行う。 |
| 認知症予防複合型プログラム事業 | 理学療法士等の指導により、ゴムの弾性を利用したマシンによる筋力向上を目的とした運動と、認知症予防、口腔機能向上及び低栄養状態の予防に関する講義を行う。 |
| 訪問型プログラム事業 | 介護予防ケアマネジメントを実施し事業の必要があるとされた場合に、理学療法士、柔道整復師等が訪問して、自宅における運動指導と生活環境調整を行う。 |
| プログラム体験事業 | 運動器の機能向上及び栄養改善複合型のプログラムにおいて、1 日体験教室を行う。 |

イ 事業実績

| 事業名 | 参加者数 | | | | |
|------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| まるごと元気！筋力アップ体操教室 | — | — | — | 220 人 | 179 人 |
| まるごと元気！マシン運動教室 | — | — | — | 87 人 | 70 人 |

| | | | | | |
|-----------------|-------|-------|-------|-----------------|------|
| 筋力向上トレーニング事業 | 234 人 | 249 人 | 213 人 | — | — |
| 筋力向上マシントレーニング事業 | 85 人 | 85 人 | 82 人 | — | — |
| 口腔機能向上プログラム事業 | 53 人 | 42 人 | 31 人 | — | — |
| 栄養改善複合型プログラム事業 | 26 人 | 37 人 | 31 人 | — | — |
| 認知症予防複合型プログラム事業 | — | 27 人 | 26 人 | 一般介護予防 事業へ移行 | — |
| 訪問型プログラム事業 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 計 | 398人 | 440人 | 383人 | 307人 | 249人 |
| プログラム体験事業 | 25人 | 67人 | 68人 | — | — |

(2) 一般介護予防事業

① 介護予防把握事業

平成 24 年度から平成 27 年度まで、介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者を対象に「健康質問調査票（基本チェックリスト）」を送付し、調査票から高齢者の生活機能を評価して、「プログラム事業（二次予防事業）対象者」を決定した。

平成 27 年度の、国の介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインにおいて、健康質問調査票は必ずしも全件送付する位置づけではなくなったが、本区の 85 歳以上の要介護認定率の実績を踏まえ、平成 28 年度以降も 75 歳以上 84 歳以下の高齢者に対し健康質問調査票の送付による調査を継続し、介護予防の取組を促している。なお、調査票送付対象年齢以外の高齢者でも体力等が心配な場合は、高齢者あんしん相談センターで基本チェックリストを受けることが可能である。

基本チェックリストを受けた方には、その結果に応じて高齢者あんしん相談センターが介護予防ケアマネジメントを行い、適切な事業等に勧奨して、要介護状態になることを未然に防ぐための事業展開を図っている。

健康質問調査票（基本チェックリスト）送付実績

| | 調査票 発送者数 | 調査票 回答者数 | 調査票 有効回答者数 | プログラム事業 対象者数 | プログラム事業 参加者実人数 |
|----------|-------------|-------------|---------------|-----------------|-------------------|
| 平成 27 年度 | 34,137 人 | 22,542 人 | 22,367 人 | 5,151 人 | 398 人 |
| 平成 28 年度 | 3,124 人 | 1,176 人 | 1,160 人 | 403 人 | 440 人 |
| 平成 29 年度 | 2,504 人 | 743 人 | 740 人 | 274 人 | 383 人 |
| 平成 30 年度 | 11,271 人 | 7,973 人 | 7,961 人 | 2,031 人 | 307 人 |
| 令和元年度 | 4,477 人 | | 2,063 人 | 502 人 | 249 人 |

※対象者（介護認定を受けていない方で、当該年 4 月 1 日現在の年齢に基づき決定）

平成 27 年度：65 歳以上の方

平成 28・29 年度：75 歳以上 84 歳以下の方のうち、前年度までの調査に回答していない方

平成 30 年度：75 歳以上 84 歳以下の方

令和元年度：75 歳以上 84 歳以下の方のうち、前年度までの調査に回答していない方

② 介護予防普及啓発事業

高齢者が閉じこもりや要介護状態になることを予防するため、地域の身近な施設で各種教室を実施している。また、介護予防に関する知識とその重要性を理解してもらうため、講演会等を実施している。

ア 介護予防教室等

| 事業名 | 参加者数 | | | | |
|--------------------------------|----------------|----------------|--------|--------|---------------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 文の京介護予防体操教室 | 20人 | 30人 | 59人 | 39人 | 25人 |
| 文の京介護予防体操地域会場 | 894人 | 944人 | 1,070人 | 974人 | 972人 |
| 文の京介護予防体操 (東京大学ふみのみやこ倶楽部) | — | — | — | 11人 | 20人 |
| 文の京介護予防体操 (筑波大学附属盲学校ふみのみやこ) | — | — | — | — | 16人 |
| 文の京介護予防体操 (跡見ギャラリー) | 39人 | — | — | — | — |
| ひざ痛予防教室 | 81人 | 119人 | 106人 | 103人 | 33人 |
| 腰痛予防教室 | 92人 | 112人 | 111人 | 97人 | 62人 |
| 転ばナイス教室 | 59人 | 60人 | 60人 | 60人 | 57人 |
| 転倒骨折予防教室 口腔機能向上教室 | 179人 | 181人 | 142人 | 172人 | 150人 |
| 尿失禁予防教室 | 126人 | 95人 | 104人 | 71人 | 38人 |
| 口腔機能向上教室 (保健サービスセンター) | 86人 | 49人 | 74人 | 81人 | 55人 |
| すこやか体操教室 (福祉センター) | 指定管理者 事業へ移行 | — | — | — | — |
| いきいき体操教室 (福祉センター湯島分館) | 52人 | 指定管理者 事業へ移行 | — | — | — |
| 脳の健康教室 | 216人 | 212人 | 203人 | 217人 | 142人 |
| 健康マージャン教室 | 38人 | 52人 | 65人 | 68人 | 65人 |
| 脳力アップ教室 | 83人 | 40人 | 40人 | 40人 | 脳活エクササイズ教室へ移行 |
| 脳活エクササイズ教室 | 脳力アップ教室から移行 | | | | 57人 |
| 健康音楽教室 | — | 122人 | 126人 | 146人 | 140人 |
| 若返りパワーアップ教室 | 60人 | 60人 | 60人 | 61人 | 58人 |
| パワーアップマシン教室 | 62人 | プログラム事業として実施 | | 59人 | 57人 |
| いきいき壱岐坂元気力アップ教室 | 21人 | 20人 | 20人 | 40人 | 38人 |
| 計 | 2,108人 | 2,096人 | 2,240人 | 2,239人 | 1,985人 |

イ 介護予防講演会及び講座

| | 回次 | テーマ | 演題 | 参加者数 | 計 |
|--------|----|--------------|-------------------|------|------|
| 平成27年度 | 1 | 口腔機能向上 | 口の病気（口腔疾患）は万病の元 | 121人 | 329人 |
| | 2 | サルコペニア・フレイル | 今日からはじめる介護予防 | 99人 | |
| | 3 | 認知症予防 | こころの健康づくりを始めよう | 109人 | |
| 平成28年度 | 1 | ロコモ予防 | 骨と関節をきたえよう | 160人 | 439人 |
| | 2 | 低栄養予防・生活習慣改善 | 健康長寿の秘訣 | 99人 | |
| | 3 | 認知症予防 | これからの認知症予防 | 180人 | |
| 平成29年度 | 1 | 転倒骨折予防 | 足をケアして健康長寿を目指そう | 179人 | 398人 |
| | 2 | 口腔機能向上 | オーラルフレイル予防 | 80人 | |
| | 3 | 認知症予防 | 認知症と生活習慣 | 139人 | |
| 平成30年度 | 1 | 難聴対策 | 聞こえの悪さを放置してはいけません | 171人 | 447人 |
| | 2 | ロコモ予防 | ロコモ対策 美しく立つ | 104人 | |
| | 3 | 認知症予防 | 認知症にならないための八か条 | 172人 | |
| 令和元年度 | 1 | 睡眠 | 心地よい眠りで健康を | 138人 | 296人 |
| | 2 | フレイル全般 | 老年学者が考えた健康寿命の延ばし方 | 100人 | |
| | 3 | オーラルフレイル | 知っていますか？オーラルフレイル | 58人 | |

ウ その他の事業

| 事業名 | 参加者数 | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 介護予防展 | 1,330人 | 1,012人 | 1,163人 | 1,334人 | — |
| 介護予防出前講座 | 123人 | 99人 | 83人 | 158人 | 93人 |

※ 令和元年度介護予防展は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

③ 地域介護予防活動支援事業

ア 介護予防ボランティア指導者等養成事業

身近な地域において介護予防を推進するため、体操等の指導及び普及啓発を行う区民ボ

ランティアを養成するとともに、高齢者等の社会参加の場の推進を図っている。介護予防推進リーダー育成のための養成講座及びスキルアップ研修会等参加者数

| 事業名 | 参加者数 | | | | |
|-------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 脳の健康教室サポーター養成 | 9人 | — | 10人 | 13人 | — |
| 文の京介護予防体操推進リーダー養成 | 54人 | 163人 | 153人 | 192人 | 194人 |
| 転倒骨折予防ボランティア指導員養成 | 22人 | 5人 | 9人 | 6人 | 6人 |
| 計 | 85人 | 168人 | 172人 | 211人 | 200人 |

イ 地域介護予防活動支援事業（通いの場）

介護予防のための体操等とともに、住民同士の助け合い・支え合う活動を推進するため、実施する団体に補助金を交付している。（社会福祉協議会事業）

| | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|--------|----------|----------|-------|
| かよい～の数 | 16 か所 | 26 か所 | 28か所 |
| 開催回数 | 683 回 | 1,298 回 | |
| 参加者数 | 7,765 人 | 16,072 人 | |

2 包括的支援事業

（1）高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の設置及び運営

高齢者あんしん相談センターは、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上等、生活の安定のために必要な相談・支援を包括的かつ継続的に行う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的なサービスの調整や、地域ネットワークの構築・再生、また、地域住民の様々なニーズに応える高齢者福祉の拠点となることを目的としている。

① 高齢者あんしん相談センターの設置

（令和2年4月1日現在）

| 日常生活圏域 | 名称 | 所在地 | 運営法人※ |
|--------|--------------------|------------|-------------|
| 富坂地域 | 高齢者あんしん相談センター富坂 | 白山5-16-3 | 社会福祉法人福音会 |
| | 高齢者あんしん相談センター富坂分室 | 小石川2-18-18 | |
| 大塚地域 | 高齢者あんしん相談センター大塚 | 大塚4-50-1 | 社会福祉法人洛和福祉会 |
| | 高齢者あんしん相談センター大塚分室 | 音羽1-15-12 | |
| 本富土地域 | 高齢者あんしん相談センター本富士 | 湯島4-9-8 | 医療法人社団龍岡会 |
| | 高齢者あんしん相談センター本富士分室 | 西片2-19-15 | |
| 駒込地域 | 高齢者あんしん相談センター駒込 | 千駄木5-19-2 | 社会福祉法人桜栄会 |
| | 高齢者あんしん相談センター駒込分室 | 本駒込2-28-10 | |

※高齢者あんしん相談センターの設置運営は、上記運営法人に委託している。

② 高齢者あんしん相談センターの運営

| センター | | 富坂及び分室 | 大塚及び分室 | 本富士及び分室 | 駒込及び分室 |
|-------|---------|----------|---------|---------|----------|
| 高齢者人口 | | 13,578 人 | 9,650 人 | 9,474 人 | 10,526 人 |
| 職員 | 社会福祉士 | 6 人 | 7 人 | 5 人 | 4 人 |
| | 保健師・看護師 | 5 人 | 3 人 | 4 人 | 4 人 |
| | 主任ケアマネ | 4 人 | 3 人 | 2 人 | 4 人 |
| | その他 | 0 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 職員数計 | | 15 人 | 13 人 | 11 人 | 12 人 |

※令和2年4月1日現在の職員数

窓口開設時間

| | 窓口開設時間 |
|-------------------|--|
| 4センター (分室を除く。) | 月曜～金曜：午前9時～午後7時 土・日・休日：午前9時～午後5時30分（年末年始を含む。） |
| 分室 | 月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（日・祝日・年末年始は休み） |

③ 主な業務内容

高齢者あんしん相談センターは、保健師（又は経験のある看護師）、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門資格を持った職員が、それぞれの専門知識を活かして連携チームをつくり、次の業務を行う。

ア 高齢者の総合相談支援、権利擁護

高齢者や介護する家族のための総合相談・支援、高齢者虐待の防止・早期発見などの権利擁護に関する相談・支援、認知症高齢者等を地域で見守り、声かけ等を行うネットワークの推進等を社会福祉士が中心となって行う。

イ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が介護保険のサービスを始めとする様々な介護サービスを適切に利用できるよう、地域のケアマネジャーからの日常相談に応ずるとともに、最新情報の提供や地域ケア会議等も活用し、ケアマネジャーに対する後方支援を主任ケアマネジャーが中心となって継続的に行う。

ウ 介護予防ケアマネジメント

総合サービス事業の対象者に対して、要介護状態等となることの予防又は要支援状態等の軽減若しくは悪化の防止と地域における自立した日常生活の支援のために、保健師（又は経験のある看護師）が中心となり介護予防ケアマネジメントを実施する。なお、プログラム事業対象者に対しては、プログラム事業への参加を勧奨し、同意された方には、一人ひとりに合った効果的なサービスの利用が実現できるよう総合調整を行う。

エ その他

認知症高齢者の介護をする家族等に対して介護方法や各種サービスの情報提供等を行う

「認知症介護教室」等の開催や熱中症対策事業、一体的に医療と介護サービスを受けられるよう医療と介護の連携を行う「医療連携相談業務」、介護保険の申請受付、区の高齢者福祉サービスの申請取次ぎ等を行う。

④ 令和元年度の主な実績

ア 総合相談業務

令和元年度に高齢者あんしん相談センターは、区内の高齢者等10,724人に対し延べ39,286件の相談・支援を行った。引き続き総相談件数は増加傾向にあり、一人当たりの相談回数は、平均で約3.7回であった。

i 相談実人数 (単位：人)

| 年度 | 富坂 | 分室 | 大塚 | 分室 | 本富士 | 分室 | 駒込 | 分室 | 計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 平成 27 年度 | 1,973 | 1,164 | 1,432 | 719 | 1,489 | 915 | 2,155 | 1,233 | 11,080 |
| 平成 28 年度 | 2,002 | 1,256 | 1,499 | 934 | 1,411 | 951 | 1,642 | 1,482 | 11,177 |
| 平成 29 年度 | 1,929 | 1,291 | 1,340 | 1,040 | 1,286 | 871 | 1,488 | 1,127 | 10,372 |
| 平成 30 年度 | 2,075 | 1,290 | 1,534 | 1,034 | 1,449 | 1,031 | 1,488 | 1,082 | 10,983 |
| 令和元年度 | 1,913 | 1,135 | 1,592 | 1,132 | 1,263 | 944 | 1,746 | 999 | 10,724 |

ii 総相談件数 (単位：件)

| 年度 | 富坂 | 分室 | 大塚 | 分室 | 本富士 | 分室 | 駒込 | 分室 | 計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 平成 27 年度 | 5,547 | 3,770 | 4,262 | 2,147 | 5,081 | 3,589 | 5,211 | 3,404 | 33,011 |
| 平成 28 年度 | 5,850 | 3,901 | 4,961 | 2,438 | 4,838 | 3,657 | 4,899 | 4,031 | 34,593 |
| 平成 29 年度 | 5,469 | 3,231 | 4,790 | 3,766 | 5,107 | 4,140 | 5,607 | 3,205 | 35,315 |
| 平成 30 年度 | 6,100 | 2,794 | 5,840 | 4,902 | 5,032 | 4,678 | 5,258 | 3,270 | 37,874 |
| 令和元年度 | 6,718 | 2,673 | 7,225 | 4,965 | 4,582 | 4,466 | 5,619 | 3,038 | 39,286 |

iii 相談方法別相談件数（令和元年度の内訳）

（単位：件）

| 相談方法 | 富坂 | | 大塚 | | 本富士 | | 駒込 | | 計 | |
|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 件数 | 構成 | 件数 | 構成 | 件数 | 構成 | 件数 | 構成 | 件数 | 構成 |
| 電話 | 4,086 | 43.5% | 6,022 | 49.4% | 5,016 | 55.4% | 3,345 | 38.6% | 18,469 | 47.0% |
| 訪問 | 3,218 | 34.3% | 3,142 | 25.8% | 2,338 | 25.8% | 2,705 | 31.2% | 11,403 | 29.0% |
| 来所 | 1,549 | 16.5% | 2,168 | 17.8% | 1,108 | 12.3% | 2,300 | 26.7% | 7,125 | 18.1% |
| その他 | 538 | 5.7% | 858 | 7.0% | 586 | 6.5% | 307 | 3.5% | 2,289 | 5.8% |
| 計 | 9,391 | 100% | 12,190 | 100% | 9,048 | 100% | 8,657 | 100% | 39,286 | 100% |

※分室を含む。

iv 相談者内訳（センター計）

（単位：件）

| 相談者 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 本人 | 17,194 | 17,375 | 17,112 | 17,821 | 18,762 |
| 親族 | 6,753 | 7,409 | 8,042 | 8,634 | 8,605 |
| ケアマネジャー | 3,181 | 3,377 | 3,537 | 3,532 | 3,677 |
| サービス事業者 | 1,742 | 1,935 | 1,905 | 2,346 | 2,710 |
| 医療機関 | 1,118 | 1,243 | 1,429 | 1,799 | 1,839 |
| 行政（区、社協等） | 966 | 1,019 | 1,184 | 1,302 | 1,430 |
| 知人・友人・近隣・管理人等 | 838 | 949 | 921 | 582 | 899 |
| 民生委員・話し合い員等 | 491 | 680 | 518 | 565 | 407 |
| 不明（匿名等） | 728 | 606 | 667 | 405 | 957 |
| 計 | 33,011 | 34,593 | 35,315 | 36,986 | 39,286 |

v 相談内容

（単位：件）

| 相談内容 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総合相談 | 介護保険（予防給付） | 12,408 | 13,117 | 12,491 | 13,201 | 15,359 |
| | 介護保険（介護給付） | 8,003 | 8,491 | 9,356 | 9,682 | 10,399 |
| | 医療・保健 | 2,606 | 2,968 | 3,175 | 3,854 | 4,403 |
| | 認知症 | 2,620 | 2,719 | 3,078 | 3,216 | 3,555 |
| | 住宅改修・福祉用具 | 1,483 | 1,438 | 1,713 | 1,911 | 1,945 |
| | 区のサービス | 1,135 | 1,123 | 1,245 | 1,204 | 1,169 |
| | 精神疾患 | 641 | 577 | 661 | 953 | 999 |
| | 民間サービス | 497 | 444 | 529 | 555 | 513 |
| | 施設（介護保険） | 336 | 410 | 433 | 501 | 430 |
| | 経済問題 | 277 | 384 | 278 | 449 | 382 |
| | 住宅問題 | 290 | 334 | 414 | 478 | 406 |
| | 家庭問題 | 378 | 334 | 484 | 495 | 531 |
| | 施設（介護保険外） | 239 | 264 | 316 | 331 | 326 |
| | 身体障害関係 | 110 | 112 | 58 | 58 | 77 |

| | | | | | | |
|--------------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 社会福祉協議会 | 91 | 68 | 74 | 93 | 95 |
| | 施設（ケアハウス・軽費） | 10 | 18 | 17 | 6 | 9 |
| | 状況確認 | 10,731 | 11,196 | 11,224 | 12,633 | 12,035 |
| 権利擁護 | 虐待のおそれ・疑い | 360 | 384 | 512 | 299 | 494 |
| | 成年後見 | 335 | 233 | 398 | 232 | 366 |
| | 虐待 | 67 | 127 | 178 | 79 | 52 |
| | 消費者被害 | 48 | 41 | 59 | 22 | 74 |
| ケアマネジメント支援 | ケアマネ個別相談 | 97 | 108 | 83 | 79 | 74 |
| | サービス担当者会議 | 61 | 65 | 36 | 55 | 56 |
| 介護予防ケアマネジメント | 事業参加勸奨 | 1,500 | 1,994 | 1,048 | 1,032 | 949 |
| | 短期集中予防サービス | 1,765 | 1,204 | 3,407 | 4,135 | 3,440 |
| | 一次予防事業 | 43 | 21 | 26 | 31 | 30 |
| | 予防給付 | — | — | 35 | 127 | 104 |
| その他 | | 234 | 190 | 230 | 150 | 127 |
| 計 | | 46,365 | 48,364 | 51,558 | 55,861 | 58,399 |

※相談内容が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため合計とは一致しない。

※平成 28 年 10 月より、二次予防事業は総合サービス事業の短期集中予防サービスとなっている。

vi 相談対応

(単位：件)

| 相談対応 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 | 元年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 説明・助言・情報提供 | 20,275 | 21,592 | 22,685 | 24,638 | 25,520 |
| 状況報告・状況確認 | 10,093 | 10,943 | 12,061 | 15,426 | 17,006 |
| 本人・関係者との調整 | 7,213 | 7,419 | 7,812 | 7,676 | 8,444 |
| 申請取次・受付・調査 | 4,901 | 5,144 | 4,572 | 4,819 | 5,033 |
| 困難ケース対応 | 108 | 98 | 151 | 165 | 159 |
| 緊急時対応 | 30 | 54 | 61 | 72 | 91 |
| カンファレンス開催 | 36 | 71 | 45 | 49 | 44 |
| カンファレンス出席 | — | — | 42 | 82 | 66 |
| 苦情対応 | 17 | 21 | 28 | 34 | 26 |
| その他（傾聴等） | 441 | 201 | 155 | 138 | 122 |
| 計 | 43,114 | 45,543 | 47,612 | 53,099 | 56,511 |

※相談対応が複数の項目に該当する場合は、複数の項目を該当させているため合計とは一致しない。

※カンファレンス出席は、平成 29 年度から項目に設定。

vii 困難ケース対応 (単位：件)

| 対応内容 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|---------|------|------|------|------|-----|
| 受診説得 | 0 | 2 | 2 | 8 | 3 |
| サービス拒否 | 3 | 6 | 20 | 7 | 12 |
| 認知症等 | 42 | 47 | 37 | 48 | 57 |
| 身体清拭 | 1 | 1 | 5 | 4 | 5 |
| 受診・入所支援 | 40 | 28 | 58 | 64 | 48 |
| 食事支援 | 2 | 4 | 8 | 14 | 9 |
| 室内清掃 | 3 | 6 | 12 | 12 | 9 |
| 後見支援 | 17 | 4 | 9 | 12 | 16 |
| 計 | 108 | 98 | 151 | 169 | 159 |

viii 緊急対応 (単位：件)

| 対応内容 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|------|------|------|------|------|-----|
| 徘徊対応 | 3 | 5 | 2 | 5 | 2 |
| 虐待対応 | 4 | 13 | 18 | 7 | 5 |
| 救急搬送 | 7 | 20 | 17 | 31 | 36 |
| 安否確認 | 15 | 32 | 20 | 24 | 45 |
| 緊急呼出 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 |
| 計 | 30 | 71 | 59 | 69 | 91 |

ix 実態把握調査

高齢者あんしん相談センターは、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等の実態の把握に努めている。高齢者が相談に来所した際、訪問や電話等、様々な手段により実態把握を行っている。

実態把握調査実施状況 (単位：件)

| センター | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 富坂 | 976 | 1,122 | 1,022 | 1,016 | 942 |
| 富坂分室 | 748 | 887 | 684 | 668 | 427 |
| 大塚 | 980 | 905 | 826 | 808 | 498 |
| 大塚分室 | 610 | 653 | 812 | 790 | 856 |
| 本富士 | 827 | 885 | 818 | 643 | 473 |
| 本富士分室 | 538 | 495 | 350 | 395 | 392 |
| 駒込 | 1,376 | 1,063 | 1,076 | 999 | 1,159 |
| 駒込分室 | 818 | 862 | 573 | 566 | 420 |
| 計 | 6,873 | 6,872 | 6,161 | 5,885 | 5,167 |

イ ケアマネジメント支援・医療連携の取り組み

i ケアマネジメント従事者研修の開催

高齢者あんしん相談センターが中心となり、ケアマネジャーのスキルアップを目的としている。

(単位：人)

| | | テーマ | 内容 | 参加者 | 計 |
|--------|---|--|---|-----|-----|
| 平成27年度 | 1 | 生活者（本人）の強みを生かし、その人らしい生活の支援をしていくために | ～リ・アセスメントシートの使い方を学び、ケアプランに活かす～ 第1部 講演 第2部 グループワーク | 74 | 148 |
| | 2 | 平成27年度医療連携交流会 ～顔の見える関係づくり～ | 成功事例から連携のきっかけに 第1部 講演 第2部 事例報告 ケアマネジャーの視点から 調剤薬局の視点から 第3部 グループディスカッション | 74 | |
| 平成28年度 | 1 | 医療と介護の連携 在宅での糖尿病管理 | ～自己管理の難しい方への支援～ 第1部 講演 第2部 グループワーク | 59 | 59 |
| 平成29年度 | 1 | 「ケアマネジャーの質問力」 ～その人らしいプラン作成のためにアセスメント力を高めよう！～ | 第1部 講演 第2部 グループワーク | 74 | 74 |
| 平成30年度 | 1 | 「ケアマネジャーに必要なアセスメントの視点」 ～その人らしいプラン作成のためにアセスメント力を高めよう！～ | 服部メディカル研究所 代表取締役 所長 服部 万里子 氏 | 102 | 102 |
| 令和元年度 | 1 | 本人の意思決定の支援について（本人に寄り添う介護のために） | ヒューマンネットワーク 三森法律事務所 弁護士 三森 敏明 氏 | 64 | 64 |

ii 各高齢者あんしん相談センターの取り組み

(単位：人)

| センター | 名称 | 内容 | 参加者 | |
|------|-----|----------------|--|----|
| 1 | 富坂 | 富坂ケアマネジメント勉強会 | 事例検討会「認知症があり、必要なサービスに結びつかない」 | 18 |
| 2 | | | 事例検討会「なかなか部屋の中が片付いてゆかないAさん」 | 14 |
| 3 | | | 法律勉強会「成年後見制度について～手続き・費用と審判後の役割分担」 | 15 |
| 4 | | | 「知ってケアマネジメントの質向上」 | 16 |
| 5 | 大塚 | ケアプランを一緒につくろう会 | 居宅介護支援事業所のケアマネジャーへのケアマネジメントの質の向上を目的とした研修 「ケアマネの質の向上についての検討会」 | 25 |
| 6 | | | 居宅介護支援事業所のケアマネジャーへのケアマネジメントの質の向上を目的とした研修 「文京区基幹型相談センターの説明と介護保険の関わり」 | 19 |
| 7 | | 主任ケアマネとの意見交換会 | 大塚地区のケアマネジメント力向上に向けた「地域包括支援センターと地域の主任ケアマネの連絡会」 | 10 |
| 8 | 本富士 | 本富士地区ケアマネ交流会 | 事例検討会 「7つのお約束確認」 「弟子が詐欺被害や転倒を心配！書道が続けていきたい独身女性」 | 43 |
| 9 | | | 事例検討会 「7つのお約束確認」 「ケアマネがどこまでやるの？～生保、全盲、介護サービス利用中の本人・家族の手続等～」 | 34 |
| 10 | 本富士 | ケアマネすきっと会 | 地域のケアマネジャーが気軽に情報交換や相談できる場 | 8 |
| 11 | | | 地域のケアマネジャーが気軽に情報交換や相談できる場 ○補聴器と集音器について | 7 |
| 12 | | | 地域のケアマネジャーが気軽に情報交換や相談できる場 ○困難事例の相談対応 | 2 |
| 13 | | | 地域のケアマネジャーが気軽に情報交換や相談できる場 ○困難事例の相談対応 | 2 |
| 14 | | | 地域のケアマネジャーが気軽に情報交換や相談できる場 ○医療と介護の連携について ○居宅事業者の閉鎖に伴い、引き継いだケースから | 3 |
| 計 | | | 216 | |

iii 自主グループ活動等への参加

(単位：人)

| センター | 出席先 | テーマ/内容 | 参加者 | |
|------|-----------|--------------|--|----|
| 1 | 富坂 本富士 | 消費税増税と介護保険制度 | 30 | |
| 2 | 富坂 | 文京事業所研究会 | 介護現場におけるハラスメント | 19 |
| 3 | 富坂 | | 2019認知症ケア最新情報～知っておきたい新しい認知症ケア～ | 15 |
| 4 | 富坂 | | 有効で適切な訪問看護の活用 | 21 |
| 5 | 富坂 大塚 | | 高齢者の健康づくりを配食サービスをとおして考える | 30 |
| 6 | 富坂 | ネットワークの会 | 独居・認知症・アルコール依存症でサービス介入拒否のケース | 30 |
| 7 | 富坂 | | 「事故防止と安全対策」(介護現場におけるリスク管理) 「文京区地域密着事業所との意見交換」 | 40 |
| 8 | 富坂 | | 「人生の最期に大切にしたいこと」を考える | 25 |
| 9 | 大塚 | | 事例検討会「透析のある方の支援について」 | 28 |
| 10 | 本富士 | | 「意思決定支援に看護職はどうかかわるか」～病院・在宅・行政の現場から～ | 60 |
| 計 | | | 298 | |

※ネットワークの会及び文京事業者研究会は、区内ケアマネジャーの自主サークルである。

iv 医療連携相談の状況

相談数

(単位：件)

| 相談者 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 計 | 構成比 | 計 | 構成比 | 計 | 構成比 | 計 | 構成比 |
| 病院 | 881 | 40.8% | 1,007 | 45.6% | 1,031 | 45.8% | 897 | 41.5% |
| 家族 | 655 | 30.3% | 640 | 29.0% | 511 | 22.7% | 464 | 21.5% |
| 本人 | 401 | 18.6% | 384 | 17.4% | 261 | 11.6% | 324 | 15.0% |
| 診療所 | | 0.0% | | 0.0% | 208 | 9.2% | 230 | 10.6% |
| その他 | 150 | 6.9% | 81 | 3.7% | 143 | 6.4% | 161 | 7.5% |
| ケアマネ | 73 | 3.4% | 97 | 4.4% | 97 | 4.3% | 84 | 3.9% |
| 計 | 2,160 | 100.0% | 2,209 | 100.0% | 2,251 | 100.0% | 2,160 | 100.0% |

※平成30年度より集計方法が変更。

支援内容

(単位：件)

| 支援内容 | 平成28年度 | | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 計 | 構成比 | 計 | 構成比 | 計 | 構成比 | 計 | 構成比 |
| 退院支援 | 667 | 30.9% | 833 | 37.7% | 1,375 | 61.1% | 1,139 | 52.7% |
| 在宅支援 | 631 | 29.2% | 499 | 22.6% | 706 | 31.4% | 838 | 38.8% |
| その他 | 862 | 39.9% | 877 | 39.7% | 170 | 7.6% | 183 | 8.5% |
| 計 | 2,160 | 100.0% | 2,209 | 100.0% | 2,251 | 100.0% | 2,160 | 100.0% |

ウ 介護予防

i 介護予防ケアマネジメントの状況（短期集中予防サービス）（分室を含む）（単位：件）

| | 平成 27 年度 | | | | | 平成 28 年度 | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|--------|-------|--|-------|-------|-------|-------|
| | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 計 | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 計 |
| 事業対象者数 | 1,606 | 1,207 | 1,083 | 1,255 | 5,151 | 113 | 92 | 93 | 105 | 403 |
| 事業参加勧奨数 | 261 | 184 | 424 | 572 | 1,441 | 120 | 343 | 223 | 494 | 1,180 |
| アセスメント数 | 96 | 85 | 105 | 171 | 457 | 3 | 15 | 4 | 3 | 25 |
| ケアプラン作成数 | — | — | — | — | — | 47 | 52 | 44 | 100 | 243 |
| アセスメント実施比 | 6.0% | 7.0% | 9.7% | 13.6% | 8.9% | 41.6% | 56.5% | 47.3% | 95.2% | 60.3% |
| | 平成 29 年度 | | | | | 平成 30 年度 | | | | |
| | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 計 | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 計 |
| 事業対象者数 | 92 | 58 | 62 | 62 | 274 | 659 | 461 | 416 | 495 | 2,031 |
| 事業参加勧奨数 | 143 | 215 | 299 | 360 | 1,017 | 306 | 224 | 196 | 312 | 1,038 |
| ケアプラン作成数 | 76 | 75 | 67 | 155 | 59 | 71 | 60 | 116 | 306 | 59 |
| アセスメント実施比 | 82.6% | 129.3% | 108.1% | 250.0% | 9.0% | 15.4% | 14.4% | 23.4% | 15.1% | 9.0% |
| | 令和 元 年度 | | | | | ※平成 27 年度及び 30 年度は、全件調査（3年に1回）のため対象者の把握件数が多い。平成 28、29、令和元年度は、前年未回答者や新たに75歳になった方を対象に把握を行った。 ※アセスメントは平成28年9月以前のケアマネジメント。平成 28 年 10 月より総合サービス事業におけるケアプランを作成している。 | | | | |
| | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 計 | | | | | |
| 事業対象者数 | 173 | 118 | 97 | 114 | 502 | | | | | |
| 事業参加勧奨数 | 184 | 256 | 151 | 312 | 903 | | | | | |
| ケアプラン作成数 | 34 | 47 | 24 | 70 | 175 | | | | | |
| ケアプラン作成比 | 19.7% | 39.8% | 24.7% | 61.4% | 28.9% | | | | | |

ii 予防給付及び総合事業ケアマネジメントの実施状況（短期集中予防サービスを除く）

要支援1・2認定者及び事業対象者に対するケアプラン

（単位：件）

| | | | 平成 27 年度 | | | | | 平成 28 年度 | | | | |
|-------------------|----|----|-----------|------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| | | | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 合計 | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 合計 |
| 相談件数 | | | 3,975 | 2,930 | 3,172 | 2,331 | 12,408 | 4,344 | 3,261 | 3,093 | 2,419 | 13,117 |
| プラン作成数 | 包括 | 新規 | 122 | 92 | 93 | 111 | 418 | 157 | 78 | 158 | 245 | 638 |
| | | 継続 | 3,272 | 2,329 | 2,395 | 2,592 | 10,588 | 3,601 | 2,500 | 2,633 | 2,964 | 11,698 |
| | 委託 | 新規 | 2 | 4 | 19 | 2 | 27 | 1 | 3 | 18 | 5 | 27 |
| | | 継続 | 27 | 112 | 365 | 86 | 590 | 30 | 89 | 450 | 88 | 657 |
| 新規計 | | | 124 | 96 | 112 | 113 | 445 | 158 | 81 | 176 | 250 | 665 |
| 継続計 | | | 3,299 | 2,441 | 2,760 | 2,678 | 11,178 | 3,631 | 2,589 | 3,083 | 3,052 | 12,355 |
| プラン数計 | | | 3,423 | 2,537 | 2,872 | 2,791 | 11,623 | 3,789 | 2,670 | 3,259 | 3,302 | 13,020 |
| 構成比 | | | 29.5% | 21.8% | 24.7% | 24.0% | 100% | 29.1% | 20.5% | 25.0% | 25.4% | 100% |
| 委託先事業所数 （3月実績） | | | 28 (2) | 116 (9) | 191 (16) | 86 (8) | 421 (35) | 26 (2) | 73 (4) | 192 (13) | 75 (6) | 366 (25) |

| | | | 平成 29 年度 | | | | | 平成 30 年度 | | | | |
|-------------------|----|----|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| | | | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 合計 | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 合計 |
| 相談件数 | | | 3,422 | 3,148 | 3,445 | 2,520 | 12,535 | 3,647 | 3,043 | 3,817 | 2,821 | 13,328 |
| 総合事業 | 包括 | 新規 | 86 | 53 | 62 | 46 | 247 | 78 | 34 | 44 | 58 | 214 |
| | | 継続 | 2,038 | 1,243 | 1,515 | 1,396 | 6,192 | 2,046 | 1,150 | 1,329 | 1,568 | 6,093 |
| | 委託 | 新規 | 0 | 6 | 9 | 3 | 18 | 0 | 8 | 6 | 7 | 21 |
| | | 継続 | 12 | 39 | 183 | 30 | 264 | 0 | 126 | 174 | 90 | 390 |
| 予防給付 | 包括 | 新規 | 73 | 38 | 48 | 49 | 208 | 70 | 44 | 50 | 45 | 209 |
| | | 継続 | 2,154 | 1,325 | 1,367 | 1,553 | 6,399 | 2,301 | 1,468 | 1,421 | 1,368 | 6,558 |
| | 委託 | 新規 | 0 | 4 | 5 | 2 | 11 | 0 | 10 | 9 | 6 | 25 |
| | | 継続 | 11 | 50 | 299 | 91 | 451 | 11 | 142 | 247 | 113 | 513 |
| 新規計 | | | 159 | 101 | 124 | 100 | 484 | 148 | 96 | 109 | 116 | 469 |
| 継続計 | | | 4,215 | 2,657 | 3,364 | 3,070 | 13,306 | 4,347 | 2,886 | 3,171 | 3,139 | 13,543 |
| プラン数計 | | | 4,374 | 2,758 | 3,488 | 3,170 | 13,790 | 4,495 | 2,982 | 3,280 | 3,255 | 14,012 |
| 構成比 | | | 31.7% | 20.0% | 25.3% | 23.0% | 100% | 32.1% | 21.3% | 23.4% | 23.2% | 100% |
| 委託先事業所数 （3月実績） | | | 23 (1) | 69 (6) | 173 (15) | 95 (8) | 360 (30) | 11 (1) | 83 (9) | 179 (17) | 128 (11) | 401 (38) |

| | | | 令和元年度 | | | | |
|------|----|----|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 合計 |
| 相談件数 | | | 4,339 | 4,362 | 3,994 | 2,664 | 15,359 |
| 総合事業 | 包括 | 新規 | 78 | 34 | 44 | 58 | 214 |
| | | 継続 | 2,046 | 1,150 | 1,329 | 1,568 | 6,093 |
| | 委託 | 新規 | 0 | 8 | 6 | 7 | 21 |
| | | 継続 | 0 | 126 | 174 | 90 | 390 |

| | | | | | | | |
|-------------------|----|----|-----------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 予防給付 | 包括 | 新規 | 70 | 44 | 50 | 45 | 209 |
| | | 継続 | 2,301 | 1,468 | 1,421 | 1,368 | 6,558 |
| | 委託 | 新規 | 0 | 10 | 9 | 6 | 25 |
| | | 継続 | 11 | 142 | 247 | 113 | 513 |
| 新規計 | | | 148 | 96 | 109 | 116 | 469 |
| 継続計 | | | 4,358 | 2,886 | 3,171 | 3,139 | 13,554 |
| プラン計 | | | 4,506 | 2,982 | 3,280 | 3,255 | 14,023 |
| 構成比 | | | 32.1% | 21.3% | 23.4% | 23.2% | 100.0% |
| 委託先事業所数 (3月実績) | | | 11 (1) | 83 (9) | 179 (17) | 128 (11) | 401 (38) |

※プラン作成数は、各センターの例月の請求データにより実施月で集計した。

※ケアプランは、ケアプランに位置付けられた期間中、毎月作成する必要がある。そのため、最初に作成したプランを新規プラン、翌月以降のプランを継続プランとして計上している。

※総合事業開始により、訪問型サービス及び通所型サービスのみのプランは介護予防ケアマネジメント、それ以外は従来どおり予防給付の介護予防支援となる。

※要支援者等のケアプランは、区に登録した居宅介護支援事業所に作成を委託することができる。

エ 地域におけるネットワーク作り（ハートフルネットワーク）

i ハートフルネットワークの拡充

高齢者あんしん相談センターが中心となり、地域において高齢者を見守り、支援するためのネットワークである。令和元年度末の協力機関数は 653 件となった。

文京区ハートフルネットワーク協力機関

| | |
|--------|--|
| 団体協力機関 | 町会、民生委員・児童委員、話し合い員、高齢者クラブ、介護相談協力薬局・薬店 |
| 民間協力機関 | 新聞販売店、配食サービス事業者、生活協同組合、東京電力、東京ガス、郵便事業、郵便局、文京浴場組合、牛乳販売店、商店街、東京都茶協同組合文京支部、東京都電機商業組合文京支部、東京和生菓子商工業協同組合、NPO 法人、マッサージ店、金融機関など |
| 公共協力機関 | 医師会、歯科医師会、警察署、消防署、水道局、社会福祉協議会、シルバー人材センターなど |
| 区関係課 | 高齢者あんしん相談センター、地域活動センター、高齢福祉課、障害福祉課、生活福祉課、介護保険課、福祉センター、保健所、保健サービスセンター、消費生活センター、清掃事務所など |

ii 安心ネット連絡会の開催

ハートフルネットワークが地域で効果的に機能するよう、協力機関の代表等を集めて、高齢者あんしん相談センターの主催により、民生委員・児童委員、話し合い員、町会連合会、高齢者クラブ、介護相談協力薬局・薬店、警察署、消防署、高齢者あんしん相談センター、社会福祉協議会及び区（高齢福祉課、地域活動センター）で構成される安心ネット連絡会を開催している。

6月の民生委員・児童委員との会合を含め、高齢者あんしん相談センターごとに、年に2回開催している。

令和元年度 安心ネット連絡会開催状況

(単位：人)

| センター | 検討内容 | 出席者 |
|------|---|-----|
| 富坂 | (1) ハートフルネットワーク事業と地域活動の広がりについて (2) 事例検討・意見交換 事例1:「息子に先立たれて生きる意欲もお金もないAさん」 事例2:「日中独居だが、デイサービス等は抵抗がある、認知症も徐々に進んでいるBさん」 | 40 |
| 大塚 | (1) 地域の見守りと地域からの声を区の活動に活かす取り組みについて (2) 各団体との情報交換・意見交換 『地域でのゆるやかな見守りについて考える』 | 21 |
| 駒込 | (1) 地域での見守り活動の報告と意見交換 | 25 |

※本富士は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により中止。

令和元年度 民生委員との連絡会

(単位：人)

| センター | 検討内容 | 出席者 |
|------|--|-----|
| 富坂 | (1) 2018年度高齢者あんしん相談センター富坂の活動報告 (2) 「理学療法士が考える、介護予防に効果的なフレイル対策」 講師 センター長 望月修 氏 (3) 2019年度 活動計画と協力のお願ひ | 50 |
| 大塚 | (1) 職員紹介 (2) 『高齢者を支えるための地域との連携』 グループごとの意見交換（地区担当別） 情報共有、実際の困り事、連携のポイント等について | 44 |
| 本富士 | (1) 「地域での見守り支援の大切さ」～その傾向と支援について考える～ 講師 アールキューブ株式会社あんしんネット事業部部長 石見良教 氏 (2) 意見交換会 (3) 高齢者あんしん相談センター本富士からのお知らせ ①令和元年度熱中症対策事業の進め方について ②認知症コーディネーターからのおしらせ | 42 |
| 駒込 | (1) グループワーク 白地図作業 (2) 意見交換 | 41 |

iii 講座開催・出張講座等の実施状況

高齢者あんしん相談センターは、センターの周知や、介護保険を始め様々な高齢者サービスの紹介、高齢者を支えるネットワークづくりのために、講座開催や出張講座、地域における会合等に積極的に取り組んでいる。

(単位：人)

| | センター | 講座開催・出張講座(回数) | 参加者 |
|----|------|--------------------------|-----|
| 1 | 富坂 | ふれあいサロン事業(4回) | 76 |
| 2 | | オレンジカフェを手伝う会(3回) | 36 |
| 3 | | 高齢者疑似体験(2回) | 85 |
| 4 | | えんまカフェ(1回) | 24 |
| 5 | | ロバ友交流会(1回) | 15 |
| 6 | 大塚 | 福祉用具展覧会(2回) | 123 |
| 7 | | ちいきみまもり連絡会(3回) | 29 |
| 8 | | 介護保険制度の基本(1回) | 28 |
| 9 | | 老い支度について(1回) | 33 |
| 10 | | 高齢者あんしん相談センター報告会(1回) | 40 |
| 11 | | 介護保険制度における施設の種類と特徴(1回) | 140 |
| 12 | | インフルエンザ啓発(3回) | 30 |
| 13 | 本富士 | 本富士地区地域座談会(1回) | 13 |
| 14 | | 家族としての介護の心構え(1回) | 21 |
| 15 | | 多職種連携研修会(1回) | 14 |
| 16 | | 老い支度講座～食から始めるフレイル予防～(1回) | 23 |
| 17 | 駒込 | 高齢者の権利論・虐待論(1回) | 60 |
| 18 | | 予防給付・日常生活総合支援事業について(1回) | 15 |
| 19 | | 文京区薬剤師会薬学部実習生向け講座(1回) | 10 |
| 20 | | 文京区障害者施設職員勉強会(1回) | 60 |
| 21 | | 生活講演(文京区障害者就労支援センター)(1回) | 10 |

iv 連絡会等への出席

1. 連絡会議等への出席

| | センター | 出席先(回数) |
|----|-----------------|-------------------------------|
| 1 | 富坂 大塚 本富士 | 成年後見制度関係機関連絡会研修会(1回) |
| 2 | 富坂 本富士 | 第一回精神障害者実務者連絡会(1回) |
| 3 | 富坂 | 第二回精神障害者実務者連絡会(1回) |
| 4 | 富坂 | 千石三丁目空き店舗活用プロジェクト第四回実行委員会(1回) |
| 5 | 富坂 | 話し合い員連絡会(1回) |
| 6 | 大塚 | 高齢者相談係と文社協との連絡会(9回) |
| 7 | 大塚 | 社会福祉協議会見守り交流会(1回) |
| 8 | 大塚 | 多職種連携を考える会(1回) |
| 9 | 大塚 | 大塚地区話し合い員連絡会(1回) |
| 10 | 本富士 | 第一回文京区介護サービス事業者連絡協議会 |
| 11 | 本富士 | 第二回文京区介護サービス事業者連絡協議会 |
| 12 | 本富士 | 第三回文京区介護サービス事業者部会 |
| 13 | 本富士 | 第六回文京区介護サービス事業者部会 |
| 14 | 本富士 | 第三回地域密着型サービス事業所連絡会 |
| 15 | 本富士 | ひまわりママ居場所づくりプロジェクト運営委員会(2回) |
| 16 | 駒込 | 関係機関連絡会(5回) |
| 17 | 駒込 | 民生委員と話し合い員との連絡会(1回) |
| 18 | 駒込 | 話し合い員連絡会(1回) |

2. 地域密着型サービス 運営推進会議への出席 (単位：回)

| | センター | 参加回数 |
|---|------|------|
| 1 | 富坂 | 36 |
| 2 | 大塚 | 8 |
| 3 | 本富士 | 8 |
| 4 | 駒込 | 12 |
| | 計 | 64 |

カ 地域ケア会議の開催

地域ケア個別会議では、何らかの課題を抱えた個別ケースについて、本人への支援に関わる総体的な内容について検討し、地域ケア連絡会議では、地域ケア個別会議の積み重ねから地域課題を抽出し、圏域単位の地域づくり・資源開発による地域課題の解決に向けた検討をした。

出席者は、会議内容に合わせて、弁護士、大学教授、保健医療関係者、銀行、民生委員、話し合い員、住民組織、介護支援専門員、介護サービス事業者、地域福祉コーディネーター、高齢者あんしん相談センター職員、行政職員等である。

令和元年度地域ケア会議開催状況

| センター | 名称 | 内容 |
|------|---------------|---|
| 富坂 | 事例確認会 (2回) | 居宅介護支援事業所及び高齢者あんしん相談センターから提出された事例を確認し、個別ケア会議及び連絡会議に提出する事例を選定した。 |
| | 地域ケア個別会議 (2回) | 個別事例の支援への検討を行い、地域の共有課題の発見を行った。 |
| | 地域ケア連絡会議 (2回) | 個別ケア会議で抽出された課題に対し、日常生活圏域レベルで検討を行った。 |
| 大塚 | 地域ケア個別会議 (4回) | 個別ケースについて、本人にとっての最善の支援をケア会議にて検討した。 |
| | 地域ケア連絡会議 (1回) | 個別会議で出た課題をどのように地域づくり及び社会資源開発につなげていくかを検討した。 |
| 本富士 | 地域ケア個別会議 (3回) | 提出された個別ケースについて話し合い、今後の方針について検討を行った。 |
| | 地域ケア連絡会議 (2回) | 対応困難なケースの対応策の共有を行いつつ、地域で多職種がつながれる仕組みについての意見交換を行った。 |
| 駒込 | 地域ケア個別会議 (4回) | 認知症や精神疾患を持つ高齢者等の個別事例を話し合い、社会資源に繋げていけるよう検討を行った。 |
| | 地域ケア連絡会議 (2回) | 地域における見守りの拡充の検討と個別課題を通して地域課題に対する理解推進を行った。 |

キ 認知症に対する取組

i 相談・支援件数

(単位:件)

| | センター | 内容 | 延件数 |
|---|-------|------------------|-------|
| 1 | 全センター | 認知症相談 | 3,918 |
| 2 | | 認知症コーディネーター対応相談 | 816 |
| 3 | | 認知症コーディネーター訪問支援 | 119 |
| 4 | | もの忘れ医療相談(訪問相談対応) | 22(6) |

v 認知症に関する講演会・出前講座

(単位：人)

| | センター | テーマ | 内容 | 参加者 |
|------|-----------------------|--|--|-----|
| 1 | 富坂 | 事例から考える認知症になった時の準備 ～そのときになってこまらないために～ | ・認知症とは ・認知症が進行した後に相談に繋がったAさんの事例から出来る準備について考える 高齢者あんしん相談センター職員/小高氏 | 22 |
| 2 | 大塚 | 認知症と“におい”の関係 アロマセラピーと認知症 | 認知症と“におい”の関係についての講話と、日常生活の中で簡単に取り入れられるアロマセラピーを体験。 東京都健康長寿医療センター研究所/内田さえ氏、メディカルアロマセラピスト・温石薬石整体師/佐藤まや氏 | 25 |
| 3 | 富坂 大塚 本富士 駒込 | 認知症の本当の事、知っていますか？ ～未来の自分のために、家族のために、身近にいる大切な人のために、一緒に考えてみませんか？～ | 『認知症って病気なんですか？』 むすび葉クリニック渋谷/荒川千晶氏 『認知症になっても人生終わりじゃない！』 若年性認知症のご本人/丹野智文氏 『家族の物語、聴かせてください！』 フリーアナウンサー・家族介護者/岩佐まり氏 | 236 |
| 参加者計 | | | | 283 |

※本富士・駒込については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により中止。

vi ぶんここ（文京認知症コミュニティ：文京区版認知症カフェ）の開催

認知症のご本人、ご家族、地域の方等、誰もが集い話せる場である。

(単位：人)

| | センター | 開催回数 | 参加者 |
|------|------|------|-----|
| 1 | 富坂 | 13 | 119 |
| 2 | 大塚 | 5 | 46 |
| 3 | 本富士 | 6 | 137 |
| 4 | 駒込 | 2 | 13 |
| 参加者計 | | | 315 |

vii 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を地域で温かく見守る応援者である。講師は、認知症について専門的研修を受講したキャラバンメイトが務めている。

(単位：人)

| | センター | 開催回数 | 参加者 |
|------|------|------|--------|
| 1 | 富坂 | 13 | 346人 |
| 2 | 大塚 | 12 | 207人 |
| 3 | 本富士 | 10 | 351人 |
| 4 | 駒込 | 8 | 193人 |
| 参加者計 | | | 1,097人 |

viii 認知症家族交流会・介護者教室等の開催

1. 認知症家族交流会

(単位：人)

| | センター | テーマ | 参加者 |
|------|------|--------------------------|-----|
| 1 | 富坂 | 我が家の介護と情報交換・手軽に気持ちもストレッチ | 6 |
| 2 | | 認知症の方との接し方やコミュニケーションの取り方 | 8 |
| 3 | 大塚 | 落語で脳の活性化 | 52 |
| 4 | | 訪問診療の現場から見た在宅介護 | 15 |
| 5 | 本富士 | 認知症の家族を介護している男性の集い | 4 |
| 6 | 駒込 | ぶんにこ駒込と共催 | 13 |
| 7 | | ぶんにこ駒込と共催 | 0 |
| 参加者計 | | | 98 |

2. 介護者教室

(単位：人)

| | センター | テーマ | 参加者 |
|------|------|---------------------------------|-----|
| 1 | 富坂 | 離れていても安心！高齢者見守りサービス活用講座 | 27 |
| 2 | | 介護者のための認知症排泄ケア | 21 |
| 3 | 大塚 | 今日から始めよう！自分らしい最期を迎えるための準備 | 41 |
| 4 | | 人生最期まで自分の足で歩く 健康寿命を延ばそう | 30 |
| 5 | 本富士 | 有料老人ホームの選び方と入居時に必要なこと | 15 |
| 6 | | 介護者のための終活の基礎知識 | 4 |
| 7 | 駒込 | 手根管症候群に対する理解と介護において注意すべき末梢神経の知識 | 25 |
| 8 | | 聞こえにくくありませんか？聞こえにくさの理解と補聴器の使い方 | 40 |
| 参加者計 | | | 203 |

ク 熱中症予防の取り組み

i 熱中症対策事業集計

(単位：件)

| 事業内容 | 富坂 | 大塚 | 本富士 | 駒込 | 計 |
|-------------------------|-----|-----|-------|-----|-------|
| 電話による啓発 | 17 | 4 | 330 | 34 | 385 |
| 戸別訪問(訪問時不在によるポスティングを含む) | 720 | 331 | 717 | 197 | 1,965 |
| 計 | 737 | 335 | 1,047 | 231 | 2,350 |

ii 講座等の開催、イベント等の実施 (単位：人)

| | センター | 内容等 | 参加者 |
|---|------|---------------------------|--------|
| 1 | 富坂 | 熱中症予防講座 | 19人 |
| 2 | 大塚 | 東京都シルバーパス交付会場における周知活動 | 475人 |
| 3 | 本富士 | 熱中症予防講座(2回) | 20人 |
| 4 | | 東京都シルバーパス交付会場における周知活動(2回) | 496人 |
| 計 | | | 1,010人 |

iii 出張講座等(熱中症予防講座等) (単位：人)

| | センター | 開催回数 | 参加者 |
|---|------|------|--------|
| 1 | 富坂 | 19回 | 397人 |
| 2 | 大塚 | 25回 | 475人 |
| 3 | 本富士 | 37回 | 448人 |
| 4 | 駒込 | 37回 | 705人 |
| 計 | | | 2,025人 |

(2) 認知症施策総合推進事業(認知症地域支援推進員及び嘱託医の配置)

認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続していくため、区に認知症地域支援推進員1人を配置するとともに、地域の認知症サポート医(都の認知症サポート医養成研修を受講した医師)を区の嘱託医として4人(日常生活圏域ごとに1人)配置している。

認知症地域支援推進員及び嘱託医は、高齢者あんしん相談センターの認知症支援コーディネーターと連携しながら、地域の認知症支援体制の構築に必要な事業の総合的な推進に取り組んでいる。

令和元年度の取組の主な成果については、(1)の④のキのとおりである。

(3) 生活支援体制整備事業

地域の多様な主体によるさまざまな生活支援サービス(助け合い活動等)の体制整備を進めるために、社会福祉協議会に生活支援コーディネーター(地域福祉コーディネーター・相談支援包括化推進員と兼務)を配置している。

生活支援コーディネーターは、担当する地域の関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、高齢者の生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート業務に取り組んでいる。

令和元年度の取組の主な成果については、1(2)の③のイのとおりである。

3 任意事業

(1) 事業者実地指導等

保険者としての実地指導は、利用者の自立支援及び尊厳の保持を念頭におき、介護サービス事業者を支援することを基本として、介護給付等対象サービスの質を確保するとともに、法令を遵守し、適正な制度運営を目的とし実施している。

実地指導は、平成 16 年度から行っており、地域密着型サービス及び施設サービスの事業者には特に、利用者への処遇面や衛生管理、非常災害対策に重点を置いた指導を行い、また、居宅サービス事業者等に対しては法令遵守、適正化の観点を含むサービス等の質の向上を図るよう指導を行っている。そのほか、介護保険事業者が遵守すべき法令のポイントを集団指導で周知するとともに、ケアプラン点検事業を実施し、ケアマネジャーがより質の高いケアプランの作成ができるように事業者ごとに個別指導を行っている。

① 実地指導実施状況

(単位：事業所)

| | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|---------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| サービスの種類 | 居宅介護支援 | 7 | 6 | 5 | 4 | 7 |
| | 通所サービス | 5 | 3 | 3 | 2 | 5 |
| | 訪問サービス | 7 | 7 | 7 | 11 | 6 |
| | 短期入所サービス | 1 | 3 | 3 | 3 | 1 |
| | 地域密着型サービス | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | 施設サービス | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| | その他 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | | 30 | 30 | 30 | 31 | 30 |

② ケアプラン点検事業の実施状況

居宅介護支援事業者の質の向上を図るため、区と居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーが協働し、ケアマネジャーが作成するケアプランが、利用者にとって必要なサービスが過不足なく提供されているか、利用者にとっての自立支援を促すものとなっているか等の観点で点検を行い、適切なケアプランが作成できるよう指導を行っている。

ケアプラン点検事業の実施状況については、以下のとおりである。

ケアプラン点検事業実施状況

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 実施事業所数 | 12事業所 | 12事業所 | 12事業所 | 12事業所 | 11事業所 |
| 参加人数 | 28名 | 41名 | 51名 | 69名 | 53名 |

③ 夜間人員体制の確認調査の実施状況

介護保険施設と地域密着型サービス事業所を対象に、夜間の人員体制の確認のため、夜間時間帯に立入調査を実施している。

令和元年度の実績については、以下のとおりである。

| | 実施施設数 (事業所)数 | 実施回数 |
|------------------|-----------------|------|
| 介護老人福祉施設 | 6施設 | 各1回 |
| 介護老人保健施設 | 3施設 | 各1回 |
| 短期入所生活介護 | 1施設 | 1回 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 8事業所 | 各1回 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 4事業所 | 各1回 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 1事業所 | 1回 |
| 介護療養型医療施設 | 1事業所 | 1回 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 1事業所 | 1回 |
| 夜間対応型訪問介護 | 1事業所 | 1回 |

(2) 給付費通知

適正なサービス提供及び保険給付費の請求が行われているかを利用者自らが確認するため、サービス利用者全員に対して年2回給付費通知書を発行する。

【給付費通知書発行状況】

| | 平成 27 年度 | 平成 28年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 第1回 | 6,140 件 | 6,314 件 | 6,759 件 | 7,002 件 | 7,104 件 |
| 第2回 | 6,247 件 | 6,433 件 | 6,928 件 | 7,227 件 | 7,318 件 |
| 合計 | 12,387 件 | 12,747 件 | 13,687 件 | 14,229 件 | 14,422 件 |

(3) 認知症介護教室

① 認知症家族交流会

認知症の人を介護する家族等の交流や情報交換を目的とした交流会を実施している。

| | 平成 27 年度 | 平成 28年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和 元 年度 |
|------|----------|---------|----------|----------|---------|
| 実施回数 | 8 回 | 8 回 | 8 回 | 8 回 | 7 回 |
| 参加者 | 46 人 | 53 人 | 64 人 | 58 人 | 98 人 |

② 介護者教室

介護についての正しい知識や介護方法を学ぶための介護教室を実施している。

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和 元 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 実施回数 | 9 回 | 8 回 | 8 回 | 8 回 | 8 回 |
| 参加者 | 156 人 | 202 人 | 133 人 | 186 人 | 203 人 |

(4) 行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業

認知症のご本人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活を継続するための支援として、認知症の症状による行方不明への備えや行方不明となった場合の早期発見及び早期保護を図るため、以下の事業を実施している。

① ただいま！支援登録

申請に基づきあらかじめ認知症の症状により行方不明になるおそれのある方の情報を登録し、区、区内警察署及び高齢者あんしん相談センターで情報を共有することで、保護された際の迅速な身元判明につなげる。

なお、令和元年度末現在の登録者数は 89 人である。

② ただいま！支援SOSメール

ただいま！支援登録の登録者などが行方不明となった際に、あらかじめ登録した地域の協力者に一斉にメールを配信し、捜索に協力いただくことで、行方不明者の早期発見・早期保護につなげる。

なお、令和元年度末現在の協力者数は 699 人である。

③ 靴用ステッカーやアイロンシールの配付

認知症の症状により行方不明になることが心配な方に、保護された際の身元判明に役立つ靴用ステッカーや衣服用アイロンシールを配付する。

なお、令和元年度の配付対象者数は38人である。

④ 「うちに帰ろう」模擬訓練

認知症の方に対する地域の対応力向上、見守り機能強化のため、認知症の症状による行方不明事案が発生したことを想定した声かけ対応等の模擬訓練を実施する。

なお、令和元年度は、令和元年11月30日に区立駒本小学校及びその周辺地域で実施し、56人の参加があった。

⑤ 高齢者GPS探索サービス事業

介護保険認定が要支援又は要介護で、認知症の症状により行方不明になる可能性のある方を対象に、GPSの専用端末を利用した探索サービスの申込及び機器購入等に係る経費を助成する。

年度末現在の利用登録者数については、以下のとおりである。

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和 元 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 利用件数 | 3 件 | 5 件 | 8 件 | 6 件 | 2 件 |

(5) 成年後見制度利用支援事業

判断能力が不十分な認知症高齢者で身寄りがいないなどの理由で成年後見制度の申立てが期待できない場合、区長が審判の申立てを行う。また、後見人等の審判の申立てを行った者に対し、申請に基づき後見人等報酬費用を助成する。

| 区長申立 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 件数 | 8 件 | 9 件 | 22 件 | 28 件 | 20 件 |

(介護保険制度の地域支援事業としての実施分)

| 後見人等 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 報酬 | 2 件 | 2 件 | 1 件 | 5 件 | 10 件 |

(介護保険制度の地域支援事業としての実施分)

(6) 住宅改修支援事業

ケアマネジャーがついていない利用者が、住宅改修申請を行う際に申請に必要な理由書を作成したケアマネジャー等の有資格者が所属する事業者に対し理由書作成費の補助を行う。

【補助状況】

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 令和元 年度 |
|------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 補助件数 | 66 件 | 70 件 | 54 件 | 47 件 | 32 件 |